運 営 要 綱

1. 会計

1.1. 常任運営委員会は、当該年度の予算及び前年度の決算を作成し、運営委員会及び（一社）熊本県サッカー協会に提出する。

1.2. 収入

(1) 県サッカー協会予算 (2) 47FA 支援金 (3) 日本協会補助金 (4) 九州協会補助金 (5) 熊本県体協補助金 (6) 熊本県補助金 (7) toto 補助金 (8) その他補助金 (9) 参加料 (10) 協賛金 (11) その他事業収入 (12) その他雑収入 (13) 受取利息 (14) 他事業への移出入

1.3. 支出

(1) 諸謝金 (2) 旅費 (3) 賃借料 (4) 消耗品費 (5) 備品 (6) 印刷製本費 (7) 通信運搬費 (8) 賃金 (9) 会議費 (10) 委託費 (11) 雑役務費 (12) その他 (13) 他事業への移出入

2. 選手資格

2.1. (公財)日本サッカー協会に選手登録され、県リーグ規約第6条に規定された加盟団体の選手とする。

2.2. 資格について疑義が提出されたときは、常任運営委員会で審議する。

2.3. 高校総体等の大会終了後、JFA 選手登録の2種から1種に変更された選手は出場可能とする。

3. 登録

3.1. 前項の参加資格を有する選手の登録人数は、1チームあたり **15名以上**とする。なお、外国籍選手については、1チームにつき最大5名までの登録を認めるが、1試合に同時に出場できるのは3名までとする。

3.2. リーグへの登録は、当連盟指定の方法で行い、当連盟の承認を得なければならない。

3.3. リーグ開催期間中の移籍については、原則認めない。ただし、熊本県外からの移籍については、その限りではない。

3.4. 参加選手は、他のチームと二重登録されていないこと。選手の二重登録は認めない。学校のクラブに所属する選手(当該年度で2種登録の選手)の登録はできない。また、高校生及び定時制のクラブ登録以外の選手でも試合出場は、1試合につき3

名までとする。

- 3.5. 中学生以下の登録は、認めない。
- 3.6. クラブ申請チームは、10名までのエントリーを認め、1試合に同時に出場できるのは3名までとする。
- 3.7. 当該年度内の九州リーグから県リーグへの移籍は、認めない。
- 3.8. 上位リーグ(1部および2部)の参加資格を有するチームの不参加は、認めない。参加できない場合には、前年度当該チームに在籍した選手の出場も不可とする。

4. ユニフォーム

- 4.1. ユニフォームは大会実施年度の公益財団法人日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に則る。ただし、以下の項目を大会規定として追加する。

(1) 正・副ユニフォーム(シャツ、ショーツ、ソックス)は、いずれも判別しやすいよう、異なる色彩(同系色不可)で用意しなければならない。色は実物に見合う内容で登録すること。シャツ(FP・GK共通)の色は、審判が通常着用する黒色と明確に区別できるものとする。試合該当チームは、正・副2組のユニフォーム一式(シャツ、ショーツ、ソックス)を会場に持参し、いずれかを着用すること。

(2) 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。

(3) 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。

(4) アンダーシャツはシャツの各袖の主たる色と同色、または同系色とし、同一チームの競技者は同色で統一すること。

(5) アンダーショーツおよびタイツは、ショーツの主たる色、またはショーツの裾の部分と同色、または同系色でなければならない。同一チームの競技者は同色で統一すること。

(6) ソックス部分をテープ、またはその他の材質のもので覆う場合、着用ソックスと同色もしくは同系色でなければならない。同一チームの競技者は同色で統一すること。

(7) ユニフォームには、背番号(1~99まで)をつけ、正・副2着を登録すること。

(8) 各チームには、フィールド上に(キャプテンとして)識別できるアームバンドを着用したキャプテンがいなければならない。事務局が認めるアームバンドについても着用を認める。(本大会においては、「単色」や「"Captain" や"C"」という単語や文字のみという制限は基本的でないものとする。)

(9)ユニフォームの広告表示については、日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に基づき承認された場合のみこれを認める。なお、会場で広告掲出料が発生する場合はチーム負担とする。

(10)上位大会以上に出場するチームは当該大会のユニフォーム規定に準ずる。

5. 組み合わせ及び日程

- 5.1. 運営委員会は、リーグ開始に当たり組合せ(ブロック)を決定する。日程については、各ブロックで決定する。決定された日程は、原則として変更することはできない。
- 5.2. リーグ戦の日程が、上位大会の日程と重複した場合には、日程の変更を認める。
- 5.3. チームの棄権により当該試合が中止となった場合、原則として当初の日程通りの時間に、他の試合を開催するものとする。ただし、他の試合に出場するすべてのチームが試合時間の前倒し等を希望する場合は、この限りではない。

6. 審判

6.1. 審判担当について

(1)主審(R)

1部については、当連盟より熊本県サッカー協会審判委員会に依頼する。

2部(3級以上)、地域リーグ(原則3級以上)は、帯同審判で行う。

(2)副審(A)

全試合帯同審判で行う。(1部は、3級以上とする。)

(3)第4審

全試合帯同審判で行う。

※本大会の審判服の色はすべて黒色とする。(シャツ・ショーツ・ストッキング)

- 6.2. チームが棄権した場合の審判割り当ては原則日程表のとおりとし、審判担当チームの変更を希望する場合は、当該チーム同士で解決する。審判担当チームを変更した場合は、ブロック内に速やかに報告すること。

6.3. 1部の審判について

1部の審判は原則3級以上とする。今年度は準備期間とし、次年度以降は、すべて3級以上で審判を行うこと。

※上記を守れないチームは次年度2部降格。次年度1部を目指す2部のチームも今年度中に3級の取得に努めてください。

7. 表彰

7.1. 下記のとおり表彰する。

1部 優勝、準優勝	賞状
2部 優勝	賞状
チャレンジリーグの各1位	賞状
エンジョイリーグの各1位	賞状

7.2. その他、特に表彰を必要とする場合には、運営委員会で決定する。

8. 義務

8.1. 1部の優勝チームは、九州各県サッカーリーグ決勝大会に出場する義務を負う。
ただし、優勝チームが諸事情により出場できない場合は、準優勝チームが出場できる。

9. 罰則

9.1. 棄権、不成立および不戦

(1) 棄権

事前に連盟および対戦当該チームに連絡を入れず、一方的に試合を放棄した場合。
試合当日に棄権をしたチームの罰則等については、運営委員会で検討する。

(2) 不成立

試合開始予定時刻までに最新版の選手一覧表、選手証を会場責任者へ提示できない、または試合開始予定時刻までに出場できる選手が7名以上いない場合。
試合前の5日前以降に連盟及び該当チーム(対戦相手・担当審判・会場責任者)に連絡し、試合ができない場合は、試合結果を0-3の敗戦とする。

(3) 不戦

- ・当連盟が正当な事由と認めた場合で、試合開始予定日の5日前までに所定の手続きを完了している場合、または自然災害等その他のやむを得ない事情により、当連盟が正当と認めた場合。
- ・試合中に負傷者が出るなどして、出場選手が7人未満となった場合。

	事前の届出	試合結果	罰則等
棄権	無し	削除	運営委員会で検討
不成立	5日前以降	0 - 3 負	無し
不戦	5日前まで	0 - 3 負	無し

9.2. 規約の不履行

規約の不履行が生じた場合は、運営委員会の決定に従うものとする。

9.3. チームは試合当日、メンバー表(選手一覧表)、選手証(選手一覧表でも可)を持参し会場責任者に1部提出すること。なお、提示が無い選手は、試合に出場できない。

9.4. 審判割当の不遵守

審判割当で有資格者以外が審判をした場合及びチーム割当の審判に遅刻(試合開始予定30分前)、または放棄した場合は、運営委員会で次年度のリーグへの参加を検討する。

9.5. 試合及び会場使用についてのマナー(フェアプレー)の著しく悪いチームについては、運営委員会で次年度のリーグへの参加を検討する。

10. プログラム

10.1. プログラムは、当連盟で作成する。

10.2. プログラムは、各チームに希望数を配布する。※6部以上はチーム負担とする。

10.3. プログラムの編集は、運営委員会で行う。

11. 競技規則・及び方法

11.1. 当該年度日本サッカー協会の競技規則に準ずる。

11.2. 選手交代、ベンチ

(1)1部は、事前に交代要員7名を主審に通告し、前後半を問わず5名まで交代できる。交代回数は、ハーフタイムを除き、3回までとする。

(2)2部は、事前に交代要員9名を主審に通告し、前後半を問わず6名まで交代できる。交代回数は、ハーフタイムを除き、4回までとする。

(3)チャレンジリーグは、主審への事前の交代要員通告人数は制限しないが、試合中の交代は6名までとし、ハーフタイム時は制限しない。交代回数は、ハーフタイムを除き、4回までとする。

(4)エンジョイリーグは、主審への事前の交代要員通告人数は制限しないが、交代回数は、ハーフタイムを除き、4回までとする。ただし、交代人数に制限は無い。また、リエントリー(再出場)を認めるものとする。

(5)ベンチ入りしているスタッフ・交代要員等については、ベンチ内でのスリッパの着用は禁止とする。また、試合で着用しているユニフォームと明確に識別できるシャツ、またはビブス等を着用すること。

11.3. 退場及び警告

日本サッカー協会の競技規則に準ずる。

(1)退場

退場を命じられた選手及び退席を命じられた役員は、次節1試合の出場及びベンチ入りを自動的に停止し、その後の処置については、熊本県サッカー協会規律フェアプレー委員会で裁定する。

(2)警告

同一試合で2回目の警告を受けた選手は、退場となり次節1試合を出場停止とする。また、リーグ開催期間中に1試合で警告1回後の試合で警告1回を受け、累積2回となった選手は、次節1試合を出場停止とする。また、累積4回で2試合の出場停止とする。

11.4. 試合球

試合球は大会開始前に各ブロックにチーム数分配布し、大会中はブロック内で管理する。

11.5. 形式及び成立

各部とも原則1回総当り方式で行う。ただし、運営その他に不都合が生じる場合は、運営委員会の変更を認める。

試合成立選手数は、7名以上とする。

11.6. 試合時間

1部のリーグ戦は80分、2部は70分、地域リーグは60分間の試合を行い、延長戦は行わない。ハーフタイムは1部、2部を10分以内とし、地域リーグは5分以内とする。

1部については、規定の時間以内に勝敗を決することができなかった場合、PK戦により勝敗を決定する。

11.7. 勝点

勝利：3点、引き分け：1点、敗戦：0点

※1部については、80分以内に勝敗を決した場合、勝利：3点、敗戦：0点、PK戦により勝敗を決した場合、勝利：2点、敗戦：1点とする。

11.8. 順位の決定

全日程が終了した時点で、勝点の多いチームを上位とし、順位を決定する。ただし、勝点と同じ場合には、以下の順序に従って順位を決定します。

(1)得失点差が多いチーム

(2)総得点が多いチーム

(3)当該チーム同士の対戦成績において、勝点が多いチーム

(4)抽選、または順位決定戦の実施

抽選、または順位決定戦の実施は運営委員会が必要と判断した場合にのみ実施され、その他の場合は同順位とする。

11.9. 脳震盪に関する特別交代枠

- (1) 脳震盪、またはその疑いのある選手の交代(以下、「脳震盪交代」という)は通常交代に含まれない。
- (2) 脳震盪交代は、通常交代と判別できる、別途指定する手続きで行わなければならない。
- (3) 脳震盪交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代及び脳震盪交代の交代回数をそれぞれ1回としてカウントするものとする。
- (4) 脳震盪交代をした場合、相手チームは通常交代とは別に1名1回の交代を追加で得ることができる。(以下、本号に基づく交代を「追加交代」という)。ただし、追加交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代及び追加交代の交代回数をそれぞれ1回としてカウントするものとする。
- (5) 1試合における各チームの脳震盪交代及び追加交代の交代人数は、それぞれ1名とする。
- (6) 「脳震盪による交代」が不適切に使われたという懸念がある場合は、関係機関に報告しなければならない。
- (7) 脳震盪交代した選手は、次の1試合は出場停止とし、診断書を提出しなければならない。また、以降の試合に出場するためには、脳神経外科等の専門医による許可を得る必要がある。

12. 各部の入れ替え

各部の入替は、以下の要領により行う。

12.1. 1部の入れ替えは以下のとおりとする。

- ・ 1部下位3チームは2部に降格する(自動降格)
- ・ 1部5位のチームと2部2位のチームで入れ替え戦を行う

上位リーグ(KYUリーグ)に昇格がある場合は、2チーム降格、1チーム2部との入れ替え戦とする。

12.2. 2部の入れ替えは以下のとおりとする。

- ・ 2部1位のチームは1部に昇格する(自動昇格)
- ・ 2部2位のチームと1部5位のチームで入れ替え戦を行う
- ・ 2部下位3チームはチャレンジリーグに降格する(自動降格)
- ・ 2部下位4~6チームと各チャレンジリーグ1位のチームで入れ替え戦を行う

12.3. チャレンジリーグの入れ替えは以下のとおりとする。

- ・ 各チャレンジリーグ1位と2部下位4~6チームで入れ替え戦を行う

12.4. その他

諸問題は、運営委員会で決定する。

13. 試合運営

試合の運営に当たっては、当日の会場責任者のもとの行う。

- 13.1. 会場責任者チームは原則センターライン延長線上に本部席を設ける。
- 13.2. 会場の準備(フィールドの設営等)は、第1試合目の両チームが行い、試合開始予定時刻30分前までに完了しておくこと。
会場の片付けは、最終試合の両チームが行う。
- 13.3. チームの棄権により第1試合目がなくなった場合、原則第2試合目の両チームが会場の準備を行うものとする。
- 13.4. 試合開始予定時刻30分前までに、所定の選手一覧表に記入し、会場責任者に1部提出する。
- 13.5. 各チームの帯同審判員は、割り当てられた試合開始予定時刻30分前までに、会場責任者に審判証を提示し、有資格者の確認を受ける。

14. 参加費と審判員登録

- 14.1. 大会への参加費は、チームごとに35,000円とする。参加費の支払い方法は、指定された口座への振込とする。
また、各チームは登録審判員として8名以上を登録することとする。
なお、1部および2部に出場するチームについては、3級以上の審判員を3名以上登録することとします。

15. その他

主催者は、選手の競技中の負傷、疾病等には、一切責任を負わない。
なお、参加者は健康保険証を持参し、スポーツ保険に加入していること。